



平成 25 年 6 月 25 日（火）江東区立東砂小学校（午前）および  
江東区立砂町小学校（午後）にて  
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」  
の「くすり教室：実験講座」を東京の 2 校にて開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことを知ってもらう講演会や体験実験を行っています。

江東区立東砂小学校の PTA 会長である松原英男様のご尽力により、平成 25 年 6 月 25 日（火）、江東区立東砂小学校（午前）および江東区立砂町小学校（午後）の 2 校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を下記の内容で、大学間連携共同教育推進事業（統括大学：千葉大学薬学部）の一環として開催しました。

開催前日は千葉大学薬学部にて、NPO J-DO の鍋島俊隆理事長、野田幸裕副理事長と名城大学薬学部学生（2 名）が、千葉大学薬学部（13 名）、城西国際大学薬学部（2 名）、千葉科学大学薬学部（1 名）、昭和薬科大学（2 名）の学生に対して講義内容や実験手順の説明と実演を行いました。

当日は、東砂小学校の小学生 77 名（4 年生：32 名、5 年生：45 名）および砂町小学校の小学生 83 名（5 年生）が参加し、東京在住の社会人 NPO J-DO 会員の協力の下、学生主体の講義と体験実験は大変分かり易かったと大好評でした。

制作：名城大学薬学部病態解析学 I  
NPO J-DO（野田幸裕）  
監修：名城大学薬学部地域医療  
薬局学講座  
NPO J-DO（鍋島俊隆）





## 江東区立東砂小学校および 江東区立砂町小学校における「くすり教室」

### ◎江東区立東砂小学校

日時：平成25年6月24日（火）9時40分～12時00分

場所：江東区立東砂小学校 体育館

人数：77名（4年生：32名、5年生：45名）

13グループ（1グループ6名程度）

### ◎江東区立砂町小学校

日時：平成25年6月24日（火）13時20分～16時00分

場所：江東区立砂町小学校 体育館

人数：83名（5年生）

13グループ（1グループ6名程度）

### 内容

#### ・「実験を始める前のお話し」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良くきき、副作用を防ぐことができるか、名城大学薬学部の学生が漫画を使ってわかりやすく説明しました。

#### ・「体験実験」

小学生はグループに分かれ、お話の内容をより理解できるように、名城大学薬学部と千葉大学薬学部、城西国際大学薬学部、千葉科学大学薬学部、昭和薬科大学の学生が補助し、小学生が体験実験を行いました。

#### ＜実験項目＞

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1ぱいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. コップ1ぱいの水かぬるま湯にも例外があるのを知ってる？
4. 「ざやく」ってなんだろう？
5. 胃でとけずに、腸でとけるくすりがあるのを知ってる？
6. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
7. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

